

4. 介護保険特別会計

(1) 収支の概要について

本年度の予算現額は6,050,123千円であり、前年度の予算現額と比較すると14,503千円（0.2%）減少している。

また、決算額は歳入で6,017,110千円（増減率4.1%）、歳出で5,867,612千円（増減率4.5%）で差し引き149,498千円の黒字となっており、本年度実質収支額から前年度実質収支額162,566千円を差し引いた単年度収支額は13,068千円の赤字となっている。

決算状況比較表

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	2	元	増 減 額	増 減 率（%）
予 算 現 額	6,050,123	6,064,626	-14,503	-0.2
歳 入 決 算 額	6,017,110	5,778,724	238,386	4.1
歳 出 決 算 額	5,867,612	5,616,158	251,454	4.5
歳 入 歳 出 差 引 額	149,498	162,566	-13,068	-8.0
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	-
実 質 収 支 額	149,498	162,566	-13,068	-8.0
単 年 度 収 支 額	-13,068	10,477	-23,545	-224.7

(2) 歳入の概要について

決算額の予算現額に対する比率は99.5%で前年度の95.3%より4.2%上昇している。

また、調定額に対する比率は99.7%で、前年度の99.7%と同じである。

決算額の主な内訳は、支払基金交付金1,485,205千円（構成比24.7%）、保険料1,396,288千円（23.2%）、国庫支出金1,265,678千円（21.0%）、繰入金912,439千円（15.2%）、府支出金786,318千円（13.1%）などとなっている。

歳入状況一覧表

科目	区分	予 算 現 額		調 定 額		
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	予算現額に対する比率
			%		%	%
保 険 料		1,345,931	22.2	1,411,167	23.5	104.8
使 用 料 及 び 手 数 料		291	0.0	253	0.0	86.9
国 庫 支 出 金		1,220,571	20.2	1,265,678	21.0	103.7
支 払 基 金 交 付 金		1,521,767	25.1	1,485,205	24.6	97.6
府 支 出 金		808,759	13.4	786,318	13.0	97.2
財 産 収 入		453	0.0	453	0.0	100.0
繰 入 金		1,003,938	16.6	912,439	15.1	90.9
諸 収 入		103	0.0	7,910	0.1	7,679.6
繰 越 金		148,310	2.5	162,566	2.7	109.6
合 計		6,050,123	100.0	6,031,989	100.0	99.7

更に決算額を分析すると、歳入決算額6,017,110千円は前年度より238,386千円（4.1%）増加しており、その内容は、国庫支出金で95,557千円（8.2%）、支払基金交付金で66,944千円（4.7%）、府支出金で30,670千円（4.1%）、繰入金で61,810千円（7.3%）、繰越金で10,477千円（6.9%）それぞれ増加し、保険料で15,641千円（1.1%）、使用料及び手数料で60千円（19.2%）、財産収入で9千円（1.9%）、諸収入で11,362千円（59.0%）減少している。

（単位：千円）

収 入 済 額				不 納 欠 損 額		収 入 未 済 額	
金 額	構 成 比	予算現額に 対する比率	調定額に 対する比率	金 額	調定額に 対する比率	金 額	調定額に 対する比率
	%	%	%		%		%
1,396,288	23.2	103.7	99.0	4,786	0.3	10,093	0.7
253	0.0	86.9	100.0	0	0.0	0	0.0
1,265,678	21.0	103.7	100.0	0	0.0	0	0.0
1,485,205	24.7	97.6	100.0	0	0.0	0	0.0
786,318	13.1	97.2	100.0	0	0.0	0	0.0
453	0.0	100.0	100.0	0	0.0	0	0.0
912,439	15.2	90.9	100.0	0	0.0	0	0.0
7,910	0.1	7,679.6	100.0	0	0.0	0	0.0
162,566	2.7	109.6	100.0	0	0.0	0	0.0
6,017,110	100.0	99.5	99.7	4,786	0.1	10,093	0.2

(3) 歳出の概要について

決算額の予算現額に対する比率は97.0%で前年度の92.6より4.4%上昇している。

また、不用額は182,511千円で前年度に比べて265,957千円減少しており、予算現額に対する比率は3.0%で前年度の7.4%より4.4%下降している。

決算額の内訳は、保険給付費5,334,128千円（構成比90.9%）、地域支援事業費241,161千円（4.1%）、総務費141,046千円（2.4%）、基金積立金129,664千円（2.2%）、諸支出金21,613千円（0.4%）となっている。

歳出状況一覧表

(単位:千円)

区分 科目	予算現額		支出済額			翌年度繰越額			不用額		
	金額	構成比	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率
総務費	156,465	2.6	141,046	2.4	90.1	0	-	0.0	15,419	8.4	9.9
保険給付費	5,433,280	89.8	5,334,128	90.9	98.2	0	-	0.0	99,152	54.4	1.8
基金積立金	129,664	2.1	129,664	2.2	100.0	0	-	0.0	0	0.0	0.0
地域支援事業費	306,939	5.1	241,161	4.1	78.6	0	-	0.0	65,778	36.0	21.4
公債費	10	0.0	0	0.0	0.0	0	-	0.0	10	0.0	100.0
諸支出金	22,163	0.4	21,613	0.4	97.5	0	-	0.0	550	0.3	2.5
予備費	1,602	0.0	0	0.0	0.0	0	-	0.0	1,602	0.9	100.0
合計	6,050,123	100.0	5,867,612	100.0	97.0	0	-	0.0	182,511	100.0	3.0

決算額を前年度と比較すると251,454千円（4.5%）増加している。

その内容は、総務費で5,194千円（3.8%）、保険給付費で250,138千円（4.9%）、基金積立金で13,704千円（11.8%）それぞれ増加し、地域支援事業費で12,735千円（5.0%）、諸支出金で4,847千円（18.3%）それぞれ減少している。

科目別年度比較表

（単位：千円）

科目	2 年 度		元 年 度		増 減 額	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
		%		%		%
総 務 費	141,046	2.4	135,852	2.4	5,194	3.8
保 険 給 付 費	5,334,128	90.9	5,083,990	90.5	250,138	4.9
基 金 積 立 金	129,664	2.2	115,960	2.1	13,704	11.8
地 域 支 援 事 業 費	241,161	4.1	253,896	4.5	-12,735	-5.0
諸 支 出 金	21,613	0.4	26,460	0.5	-4,847	-18.3
合 計	5,867,612	100.0	5,616,158	100.0	251,454	4.5

(4) むすび

本年度の決算は実質収支で 149,498 千円の黒字となり、単年度収支においては 13,068 千円の赤字となっている。

保険給付費は引き続き増加傾向で、今後もこの傾向が続くものと考えられる。高齢化社会が進む中、高齢者ができる限り要介護状態にならない、あるいは重度化しないよう、効果的な介護予防事業を推進し、また、地域支援事業の積極的な取組みを通じて保険給付費などの増加を抑えるよう努めていただきたい。

そのような中で、引き続き実質収支は黒字を維持しているが、一般会計からの繰入金金は 912,439 千円と前年度より増加し、単年度収支は赤字へと転じている。

保険料では不納欠損額、収入未済額ともに減少しており、徴収努力がうかがえる。今後も引き続き未収保険料の削減に努めていただき、本市として将来的な本会計の運営の安定化を図られるよう望むものである。